

(公財)コープともしびボランティア振興財団

2014 年度事業報告

【 I 】2014 年度事業報告

1. 第 2 次中期計画の 2 年目。コープこうべの CSR の一端を担う役割確認の上、財団事業の価値広報を強化しました。
2. 助成グループに加え、活動の現場や人、情報を知るために、コープこうべ、行政、中間支援団体のイベントや研修に、積極的に参加しました。
3. より地域に開かれた公益財団法人をめざし、助成金説明会を 7 エリアで実施。中間支援組織とも連携し、広報をすすめたことで、申請件数、新規グループ数ともに大きく増えました。
4. 財政基盤を支える、賛助会員、寄付者を増やすため、他公益財団法人への訪問・ヒアリングなども行い、新たな資金調達の方法を模索しました。

I. 助成団体・助成対象者との関係づくりを深めるとともに、助成事業だけでなく、研修・交流事業も含めて地域課題の把握に努め、活動の継続と発展を応援する中間支援組織をめざします。

1. ボランティア活動助成

(1) 2014 年度助成の分野別実績

	分野	対象者	件数	助成額(円)	助成給付率(%)
①	福祉	高齢者	32	1,030,000	10.4
		障がい者	18	1,167,000	11.8
		地域住民	6	221,000	2.2
		在日外国人	1	136,000	1.4
		特定団体	2	40,000	0.4
		施設・病院	9	214,000	2.2
		合計	68	2,808,000	28.4
②	社会教育		1	88,000	0.9
③	まちづくり		11	959,000	9.7
④	文化・芸術		11	856,000	8.6
⑤	国際協力		4	245,000	2.5
⑥	男女共同参画		3	734,000	7.4
⑦	子ども育成		43	2,910,000	29.4
⑧	環境の保全		26	1,298,000	13.1
合 計			167	9,898,000	100.0

(2) 2015 年度ボランティア活動助成に向けた助成金説明会を実施

参加者数は、全体で 313 人、新規グループの参加は 66 と過去最大でした。

◇2015 年度 助成金説明会 参加状況

	日時	開催エリア	参加者数	参加グループ数（新規）
①	11/14（金）	神戸市東灘区 ※近畿ろうきんと合同開催	94	38（12）
②	12/3（水）	姫路市	43	31（10）
③	12/5（金）	明石市	26	18（5）
④	12/8（月）	神戸市中央区	48	38（12）
⑤	12/9（火）	神戸市北区	23	20（7）
⑥	12/11（木）	宝塚市※宝塚NPOセンターと共催	28	30（6）
⑦	12/13（土）	西宮市	51	43（14）
計			313	218（66）

※2014年度の助成グループ(167)のうち、18グループと2個人は2015年度申請なし

◇2015 年度 申請状況

	申請団体数	申請金額（円）	継続団体数	新規団体数
福祉分野	155	12,717,460	122	33
環境分野	28	1,649,000	25	3
計	183	14,366,460	147	36

7会場のうち、①は近畿ろうきんと合同で、「助成金活用のコツセミナー」として開催し、ステップアップのための良い機会になったと好評でした。

（3）事務局による助成グループ訪問・ヒアリング

2014年度は積極的に助成グループとの交流や情報収集を行う方針のもと、47グループを訪問あるいはヒアリングしました。

2. 市民力を高めるボランティアコーディネート実践のための調査研究助成

（1）2014 年度調査研究助成

この助成制度は、ボランティアな活動を幅広くコーディネートできる人材がキーになるという問題意識から「活動への助成」に加え「人を育てる助成」として2006年度にスタートしました。今年度は、5名に助成を行いました。

（2）2013 年度調査研究助成対象者による報告会

昨年度の調査研究助成を受け、地域で活躍している人たちの現在の活動内容や問題意識を聞き、交流を深める公開報告会を開催しました。

日 時：2014年6月30日(月) 13:30~16:30

場 所：ひょうごボランティアプラザ セミナー室（参加費無料）

参加者：25名

(3) 研修事業

今年度は、従来から実施している「傾聴講座」や「バリテーション講座」だけでなく、地域の課題解決につながる新たな講座も行い、9講座250名の参加がありました。

研修テーマ・内容 講師名	時期、参加人数
<p>これからの介護講座 ～介護を一人で抱え込まないために～</p> <p>介護者が疲れて、孤立しないようにするために家族や地域、専門家の力をかりてがんばらない介護を考える</p> <p>一般社団法人 滋賀県介護福祉士会 事務局長 砂田 貴彦（調査研究助成修了生）</p>	<p>6月2日 参加人数 15名</p>
<p>傾聴講座 2回コース</p> <p>傾聴ボランティア活動の基本を学ぶ。 ロールプレイ中心に具体的な言葉がけやワークを行う</p> <p>関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科 准教授 川島 恵美</p>	<p>7月4日・11日 参加人数 40名</p>
<p>傾聴講座 ～聴く力を育てよう～</p> <p>話の聴き方のスキルアップとして聴く力を育てる</p> <p>西長洲荘 主任介護支援専門員 栗野 真造</p>	<p>7月23日 参加人数 28名</p>
<p>セルフヘルプグループ図書館</p> <p>身近にあるセルフヘルプグループを知って理解を深める。自らできる関わり方を考える</p> <p>特定非営利活動法人 ひょうごセルフヘルプ支援センター 代表 中田 智恵海 6つのセルフヘルプグループ</p>	<p>9月13日 参加人数 36名</p>
<p>思いを受け止め共感を広げるボランティア交流会</p> <p>団体のメンバー募集、広報について他団体と交流しながら学習、情報収集の場にする</p> <p>motto ひょうご 事務局長 栗木 剛</p>	<p>9月29日 参加人数 20名</p>
<p>傾聴講座 2回コース</p> <p>スキルアップ、会話だけでなく形にする方法を学ぶ</p> <p>関西学院大学 人間福祉部社会福祉学科 准教授 川島 恵美</p>	<p>10月3日・10日 参加人数 21名</p>

読み聞かせ第1歩 絵本でつなぐセミナー	10月7日・28日 参加人数 24名
大人も楽しめる絵本の世界に触れる。絵本文庫ボランティアを募る	
おはなしキャンドル 主宰 田中 千代野	
居場所づくりワークショップ	11月26日 参加人数 35名
地域での人とのつながりをつくりだす可能性を探る 居場所の情報共有	
シチズンシップ共育企画 代表 川中 大輔	
頭と身体同時に使って認知症予防体験セミナー	2月19日 参加人数 31名
認知症予防プログラムをツールとして地域で活動を広げていく	
関西福祉科学大学 教授 重森 健太	

II. 心に届く広報の手法、連携先を工夫し、活動支援の理解者、支援者を広げ、財団のプレゼンス向上をめざします。

1. 財団のプレゼンス向上と理解者の拡大

(1) 初の公開型「市民活動交流会 2014」の開催

「サードプレイス（人生の第3の場）」「無縁社会をゆたかに生きる」をテーマに、以下の企画で実施し、新たな参加者層、当財団への関心の掘り起こしをはかりました。

●市民活動交流会 2014 企画概要

- ◎日 時 5月21日（水）13時～16時 於）東灘区民センター うはらホール
- ◎テーマ あなたらしく生きるためのサードプレイス（第3の場）とは
～無縁社会に負けない地域での生き方～
- ◎講 演 上野千鶴子（(認定)ウィメンズアクションネットワーク理事長）
「つながって生きる おひとりさま時代」
- ◎パネルディスカッション 「私にとってのサードプレイス」
- ◎参加者 2014年度ボランティア活動助成、調査研究助成対象者や、一般市民、組合員、コープこうべ職員など約500名

(2) コープこうべの職員研修受け入れと連携強化

(3) 広報強化の継続・発展

- ① コープこうべ機関紙、ラジオ番組とのコラボレーション

2014 年度も引き続き、コープこうべの広報媒体を活用しての広報を強化しました。コープこうべの機関紙「きょうどう」（毎月第 1 火曜日発行、発行部数 60 万部）に 2013 年度に掲載された「ともしび財団が応援する・地域のちから」を再編集し、地域での広報活動に役立てました。

また、ラジオ関西の番組では、「ともしび 朝ボラ情報！」と題して、毎週火曜日の朝、当財団の助成グループが活動を紹介。46 グループが出演しました。

②地域のイベントへの積極的な参加

阪神・淡路大震災 20 年イベントや、コープこうべの宅配利用者拡大イベント（つかしん、西神中央）、地区・地域のイベント（第 3 地区、西宮南、仁川、三田など）に、助成グループと共に、あるいはグループが作成したおもちゃ（子ども用のさかなつり）などを携えて参加。当財団への認知度のアップに努めました。

2. 資金調達

（1）コープともしびボランティア募金（集中募金）

2013 年度から、10 月のみの取り組み期間となり、募金事務局をコープこうべ組合員活動部に位置づけて、コープこうべ宅配事業ならびに店舗、職員への呼びかけを行って取り組みました。

（2）宅配事業でのポイントによる募金（めーむポイント募金）

宅配事業利用組合員を対象とし、通年で実施している募金です。2012 年 8 月から制度がスタートし、今年度の収入に最も貢献している募金です。

（3）夕食サポート事業との連携強化

高齢者世帯を中心に毎日夕食のお弁当を届けるコープこうべの夕食サポート事業「まいくる」より、2014 年度は、723,535 円を寄付いただきました。（利用 1 食あたり 0.5 円） 5 月開催の「市民活動交流会 2015」で贈呈式を行います。

3. 基本財産運用

財産運用規則にのっとり、適正に運用をすすめました。